

藤間蘭黄



Photo 藤山配信

西洋音楽史に影響をあたえた改革者

M.ムソルグスキー 生誕185周年 記念コンサート

7月1日(月) 銀座・王子ホール

午後6時開場、6時半開演、終演8時半予定

代表作「展覧会の絵」を日本舞踊とバレーで表現する画期的試み—
作曲家が親友の画家に捧げたレクイエム—
ピアニスト木曾真奈美が紡ぐドラマを、
日本を代表する二人の舞踊家が、
日本舞踊とバレーで描く



木曾真奈美



山本隆之

ムソルグスキーは、19世紀のロシア国民学派を代表する作曲家というだけではなく西欧音楽史に多大な影響をあたえた巨匠であり、スクリャービン、プロコフィエフと共にロシアにおける音楽史の改革者とされている。ムソルグスキーの代表作と言われる「展覧会の絵」(1874年)をはじめ、リムスキー=コルサコフの編曲による合唱付管弦楽曲「禿山の一夜」(1880年)、ショスタコーヴィチの交響曲14番の原型ともいえる歌曲集「死の歌と踊り」(1875-77年)や風刺歌曲の最高傑作「蚤の歌」(1879年)などがある。本コンサートではムソルグスキーの魅力をさまざまな視点から掘り下げる。



ミハイル・カンディンスキー



ヴィタリー・ユシュマノフ

出演

- ミハイル・カンディンスキー (ピアノ) / 「禿山の一夜」
- ヴィタリー・ユシュマノフ (バリトン) / 歌劇「ボリス・ゴドゥノフ」 「死の歌と踊り」より
- 藤間蘭黄 (日本舞踊) / 「展覧会の絵」
- 山本隆之 (バレーダンサー) / 「展覧会の絵」
- 木曾真奈美 (ピアノ) / 「展覧会の絵」
- 山田剛史 (ピアノ) / 歌劇「ボリス・ゴドゥノフ」 「死の歌と踊り」より

●全席指定 ●入場料6000円

チケット・問合せ: 株式会社ロシアン・アーツ ☎03-5919-1051 (平日11:00~17:00/e-mail:russian-arts@e-mail.jp)

主催/ロシア文化フェスティバル組織委員会&ロシアン・アーツ

後援/ロシア連邦外務省、ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁、日協、INARTEX

*出演者・演目などが予告なく変更される場合がございます。ご了承ください。